

# 3月期決算企業の24/3期3Q決算まとめ 好決算&自社株買いを発表した企業に注目

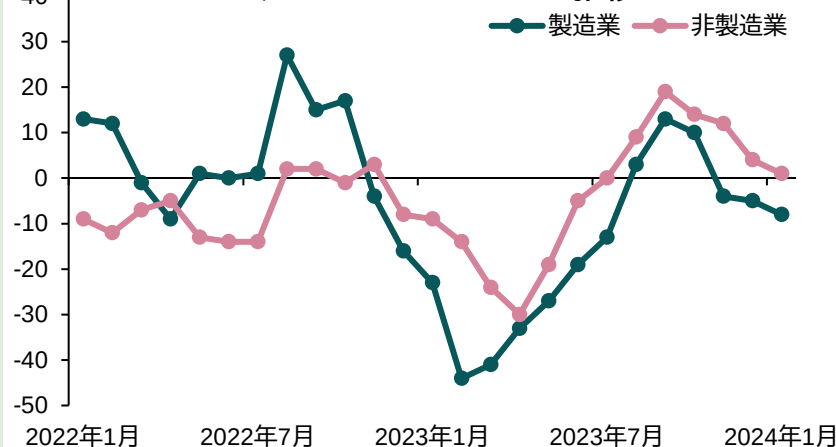
2024年2月22日  
投資情報部 株式マーケティングG 大下 莉奈  
マーケット情報G 福岡 祥歩

## TOPIX3月期決算企業の3Q業績 (単純合算ベース、前年同期比)

|              | 売上高  | 営業利益  | 経常利益  | 純利益   |
|--------------|------|-------|-------|-------|
| TOPIX3月期決算企業 | 4.0% | 18.0% | 34.3% | 46.3% |
| 除くSBG        | 4.0% | 18.0% | 21.4% | 25.7% |
| 除く電気がス、情報通信  | 5.0% | 18.2% | 20.8% | 20.6% |
| 製造業          | 5.2% | 23.6% | 32.0% | 34.2% |
| 非製造業         | 2.7% | 10.2% | 36.3% | 58.2% |

出所:QUICK 作成:岡三証券 2月16日現在  
※2017年2Qから継続してデータが取得可能なTOPIX採用の3月期決算企業

## QUICKコンセンサスの推移



出所:QUICK 作成:岡三証券

## 24/3期3Qは前年同期比4%増収、同18%営業増益

3月期決算企業の決算発表が一巡した。2月16日時点で、TOPIX採用銘柄の3月期決算企業の3Q業績は、前年同期比4.0%の増収に留まった一方、営業利益は同18.0%増と大幅に増加した。

外部不透明感が強まる中でも、企業の営業利益率が改善傾向である点は見逃せない。今回の決算でも、製品の値上げやコスト削減の効果が多くの企業で確認された。今回の決算シーズンを経て、東証プライム採用企業の予想EPSは過去最高水準まで切り上がっており、日本企業の「稼ぐ力」の高まりは素直に評価できよう。

## 好業績&決算で「良い変化」が確認できた企業に注目

一方、アナリストの業績に対する「強気」・「弱気」度合いを示すコンセンサスDIは、昨年の夏をピークに低下しており、業績への先行き不透明感は根強いと考える。今後は、実績が好調であることに加え、持続的な業績成長が見込める企業へと、次第に「選別」が進んでいきそうだ。

次頁より、①自社株買いを発表した好決算企業と、②今回の決算で「良い変化」が確認できた注目銘柄(p.3-8)を紹介する。日本株市場が歴史的な高値水準にある中、全体的には急ピッチな上昇に対する過熱感が警戒される場面も出てこよう。中長期で安定成長が期待できる企業を選好したい。

# 3月期決算企業の24/3期3Q決算まとめ

## 決算で「良い変化」が確認できた企業をピックアップ！

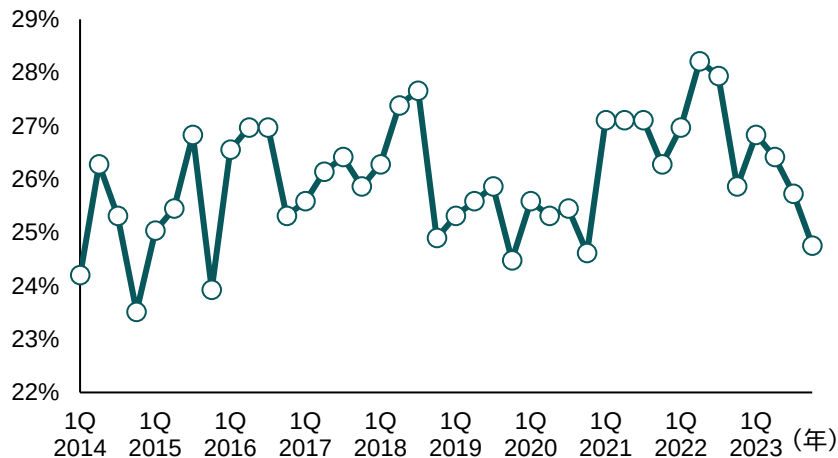
2024年2月22日  
投資情報部 株式マーケティングG 大下 莉奈  
マーケット情報G 福嶋 祥歩

### 株高局面でも自社株買いを発表した企業に注目

東証の企業統治改革などで「稼いだお金の使い方」に対する関心が高まる中、ネットキャッシュ比率（総資産に対する資金の潤沢度を測定する指標）が20%を超える企業の割合が低下傾向にある点も見逃せない。

例えば、今回の決算発表では、企業の資本価値を向上させる方法の一つである自社株買いを発表する企業が目立った。今後、日本企業の間で、資本政策の見直しが一段と広がれば、中長期の企業価値向上に対する期待が日本株を更に押し上げよう。

ネットキャッシュ／総資産比率が  
20%超え企業の割合(TOPIX1000採用企業)



出所:QUICK 作成:岡三証券 2月15日現在  
※2014年1Qから継続してデータが取得可能なTOPIX採用企業(除く金融)

### 自社株買いを発表した主な3月期決算企業

| 銘柄名              | 業種       | 3Q累計営業利益 |         | 対会社計画進捗率 | 自社株最大取得額 |
|------------------|----------|----------|---------|----------|----------|
|                  |          | 前期比伸び率   | 市場予想乖離率 |          |          |
| 5975 東プレ         | 金属製品     | 530.6    | 54.4    | 82.6     | 3,024    |
| 3116 トヨタ紡織       | 輸送用機器    | 168.0    | 13.4    | 82.5     | 20,000   |
| 3099 三越伊勢丹HD     | 小売業      | 66.7     | 7.4     | 81.9     | 15,000   |
| 6960 フクダ電子       | 電気機器     | 20.0     | 66.2    | 80.4     | 15,760   |
| 9682 DTS         | 情報・通信業   | 16.7     | 11.1    | 79.3     | 1,000    |
| 4403 日油          | 化学       | 9.9      | 16.2    | 83.2     | 2,000    |
| 2127 日本M&AセンターHD | サービス業    | 1.1      | 11.1    | 66.1     | 7,000    |
| 9759 NSD         | 情報・通信業   | 21.0     | 3.5     | 74.2     | 700      |
| 7943 ニチハ         | ガラス・土石製品 | -8.8     | 5.0     | 73.1     | 1,936    |
| 4980 デクセリアルズ     | 化学       | -9.0     | 11.8    | 83.3     | 6,000    |
| 5423 東京製鐵        | 鉄鋼       | -9.1     | 2.6     | 80.4     | 1,000    |
| 6413 理想科学工業      | 機械       | -11.8    | 12.2    | 71.0     | 500      |
| 6988 日東電工        | 化学       | -18.4    | 7.3     | 80.2     | 30,000   |
| 5991 ニッパツ        | 金属製品     | -28.5    | 111.4   | 65.5     | 18,000   |
| 4046 大阪ソーダ       | 化学       | -45.5    | 8.6     | 76.0     | 800      |

※%表示、自社株最大取得額の単位は百万円  
出所:QUICK 作成:岡三証券 2月15日現在  
2月15日までに3Q累計決算を発表した3月期決算企業のうち、  
時価総額1,000億円以上、3Q累計営業利益が市場予想上振れで自社株買いを発表した主な企業

# 3月期決算企業の24/3期3Q決算まとめ

## ②注目銘柄

2024年2月22日

投資情報部 株式マーケティングG 大下 莉奈  
マーケット情報G 福嶋 祥歩

## 三菱ガス化学(4182)

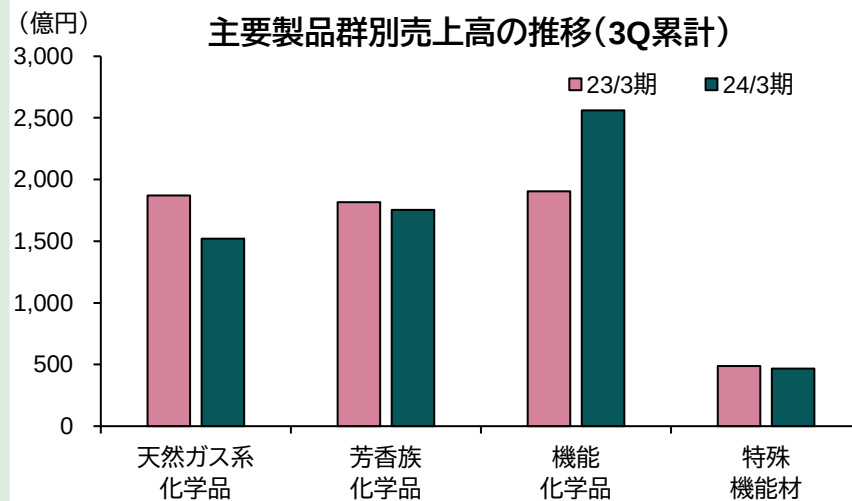
### 世界初・国内初の技術を生み出す化学メーカー

メタノールやアンモニアなど原料に近い製品から、エンジニアリングプラスチック、半導体パッケージ用材料など高機能製品まで幅広く展開する。高い耐熱性や優れた電気特性などを有する半導体素材「BT積層板」や、酸素や二酸化炭素などの気体を遮断する働きを持つ「MXナイロン」など、世界シェアNo.1を誇る製品を数多く保有する。

### 注目ポイント:次世代半導体素材「OPE」の動向

24/3期3Q累計決算は、前年同期比4%増収、同15%営業減益となった。メタノール市況下落や芳香族化学品・有機化学品の販売数量減などが響いた。尚、通期会社計画売上高を下方修正したものの、JSPの持ち分法適用会社化による特殊要因が背景で、利益見通しは据え置いた。

一方、「BT積層板」は、メモリ向けが依然弱含んでいるものの、全体的に需要は回復基調が続いており、4Qに更なる販売増を見込む。また、送電ロスを少なくすることが可能な樹脂であるOPE(オリゴ・フェニレン・エーテル)の需要がAIサーバーで使用されるプリント基板材料として、生成AI向けに急拡大していると推測されよう。25/3期以降の業績成長に対する期待は継続しよう。



出所:会社資料 作成:岡三証券



出所:QUICK 作成:岡三証券 2月16日現在

# 3月期決算企業の24/3期3Q決算まとめ

## ②注目銘柄

2024年2月22日

投資情報部 株式マーケティングG 大下 莉奈  
マーケット情報G 福島 祥歩

### オルガノ(6368)

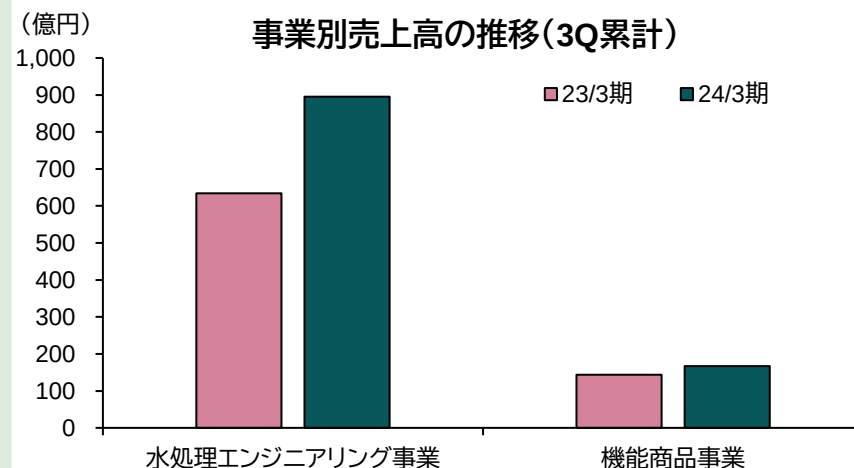
#### 総合水処理エンジニアリング企業

高い技術力を有し、純水から排水、プラントから小型水処理装置、水処理薬品までを手掛ける総合水処理エンジニアリング会社。主力の水処理エンジニアリング事業では売上高の約7割が半導体・パネル・電子部品など、電子産業向けとなっている(23/3期)。東ソーの連結子会社で、半導体の洗浄向け超純水製造に強みを持つ。

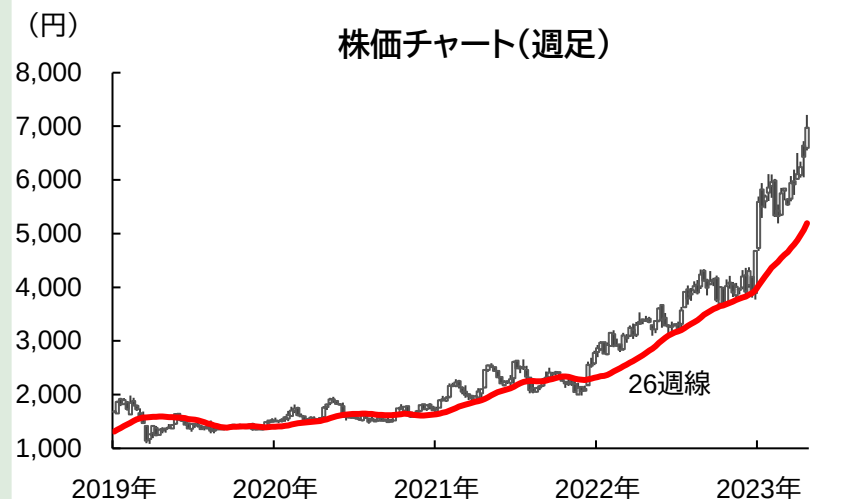
#### 注目ポイント:設備投資需要の高まりが追い風に

24/3期3Q累計決算は、前年同期比12%増収、同43%営業増益となった。水処理エンジニアリング事業では、電子産業分野で受注した大型案件の工事や、一般産業事業で受注したプラント案件などが順調に進捗した。また、機能商品事業でも、水処理薬品分野で電子産業向けに薬品の販売が好調だった。

生成AIや電気自動車などの分野に向けた半導体需要拡大への期待などで、各国・地域で複数の大型投資が計画されるなど設備投資では活況な状況が続いている。受注高は、今期中の投資を想定していた一部の案件の期ズレなどから前期比マイナスとなる見通しだが、プラント案件の利益率改善やソリューション事業・機能商品事業の好調を追い風に、業績は拡大が続く見通し。今後の業績拡大に対する期待が引き続き株価上昇を後押ししよう。



出所:会社資料 作成:岡三証券



出所:QUICK 作成:岡三証券 2月16日現在

# 3月期決算企業の24/3期3Q決算まとめ

## ②注目銘柄

### ダイフク(6383)

#### 保管・搬送システム世界首位級

立体自動倉庫などの搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリングシステム・機器のメーカーで、世界でも高いシェアを有する。物流のシステムに関するコンサルティングやエンジニアリング、設計・製造・据付・サービスなどを手掛けており、自動車やエレクトロニクス、流通、小売り、航空業界など国内外の大手企業を主要顧客とする。

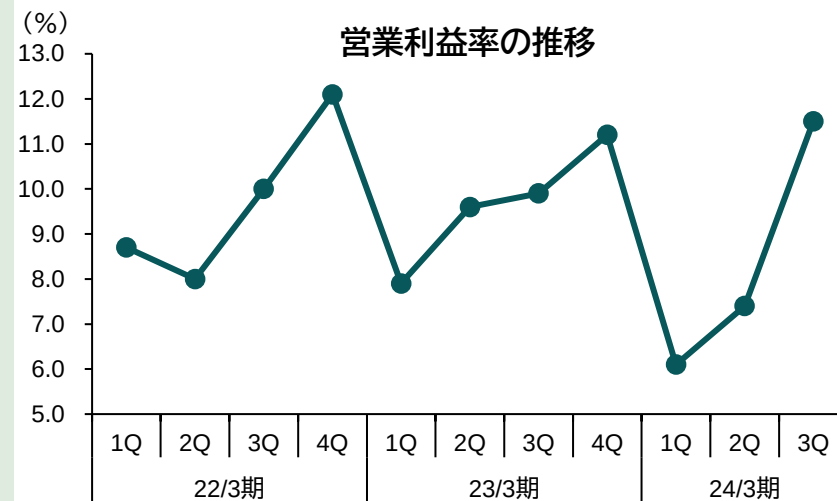
#### 注目ポイント:先端半導体向け自動搬送機

24/3期3Q累計決算は、前年同期比横ばいの売上高、同8%営業減益となった。ただ、EV関連投資や航空旅客数の回復の恩恵を受ける自動車生産ライン向け、空港向けが好調に推移したほか、北米の一般製造業・流通業向けの収益性が価格転嫁の進展で改善している。同時に、通期会社計画を一部上方修正した。

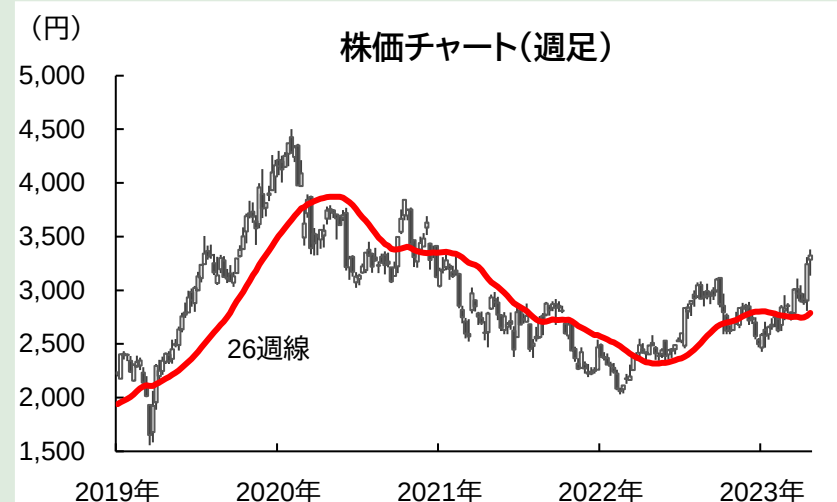
2023年12月には半導体を製品に最終加工する「後工程」にも対応する先端半導体の搬送機を開発。日本国内の半導体メーカーなどで前工程から後工程まで一貫した生産体制を構築する機運、人手がかかる作業が多い後工程の自動化ニーズが高まっているもよう。今後は、新たなビジネスチャンスの獲得が業績成長へとつながるか、注目されよう。

2024年2月22日

投資情報部 株式マーケティングG 大下 莉奈  
マーケット情報G 福嶋 祥歩



出所:会社資料 作成:岡三証券



出所:QUICK 作成:岡三証券 2月16日現在



# 3月期決算企業の24/3期3Q決算まとめ

## ②注目銘柄

2024年2月22日

投資情報部 株式マーケティングG 大下 莉奈  
マーケット情報G 福島 祥歩

## アドバンテスト(6857)

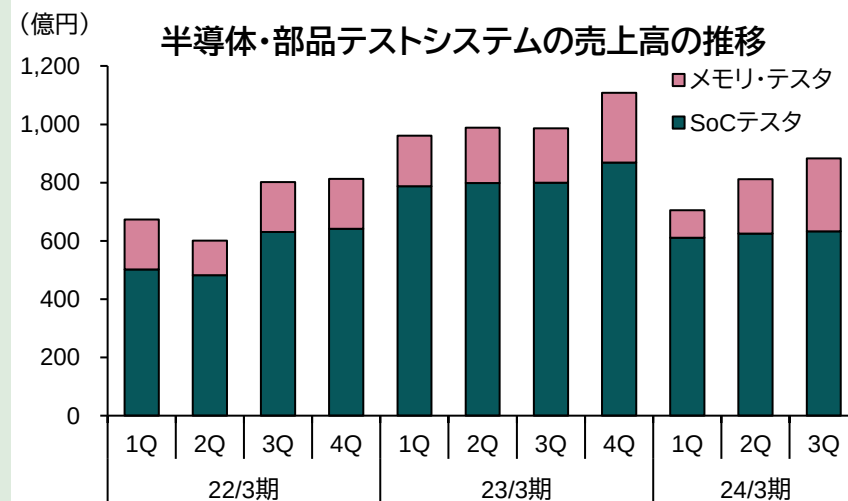
### 半導体試験装置が主力

半導体のパッケージテストに不可欠な工程の全てをワンストップで提供可能で、メモリテストメーカーとして世界的に高い知名度を持つ。携帯用アプリケーション・プロセッサなど非メモリ半導体用テストシステムも高シェアを誇る。先進的な半導体を手掛ける企業のほぼ全てを顧客としており、生成AI向けGPUをほぼ独占的に設計開発する米エヌビディアも当社の製品を「指名買い」して使用している。

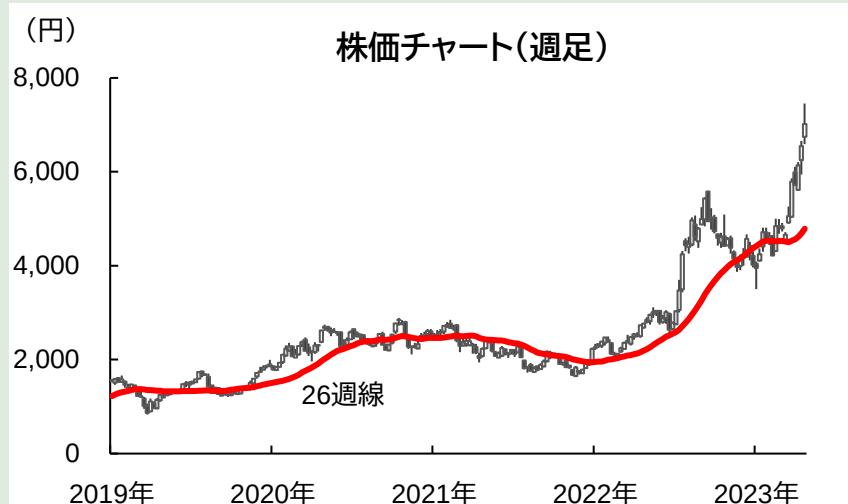
### 注目ポイント:半導体向けテスト需要の増加

24/3期3Q累計決算は、前年同期比15%減収、同52%営業減益となった。ハイエンドの演算半導体「SoC(システム・オン・チップ)」向け装置の需要回復に時間がかかっており、持ち直すのは24年後半以降になるもよう。

一方、四半期ベースでの売上高は前四半期比で2桁の増収を確保するなど、1Qを底に回復傾向である点は見逃せない。特に、半導体メモリ向け試験装置は、生産能力の増強に伴い、高速で大容量処理が可能な次世代DRAM向けの試験装置及び関連製品の販売が伸びているようだ。会社側は、「試験装置の需要は24年後半から大きく伸び、数年間は活況が続く」と指摘したようで、中長期的な業績拡大に対する期待が株価の支えとなろう。



出所:会社資料 作成:岡三証券



出所:QUICK 作成:岡三証券 2月16日現在

# 3月期決算企業の24/3期3Q決算まとめ

## ②注目銘柄

### 日東電工(6988)

#### 光学フィルムのトップメーカー

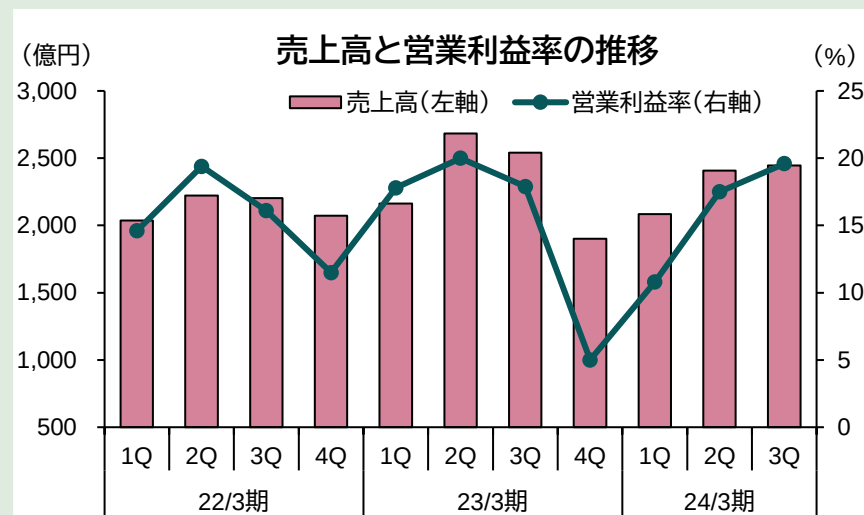
偏光フィルムをはじめとした液晶ディスプレイ用光学フィルムのトップメーカー。スマホやテレビなどの画面表示に欠かすことのできない光をコントロールするフィルムや工業用テープ、自動車用部材、医療用関連製品など幅広く展開している。カーペットのゴミを取る通称「コロコロ」は日東電工の子会社ニトムズが開発した大ヒット商品。

#### 注目ポイント:モバイル向け商品の販売動向

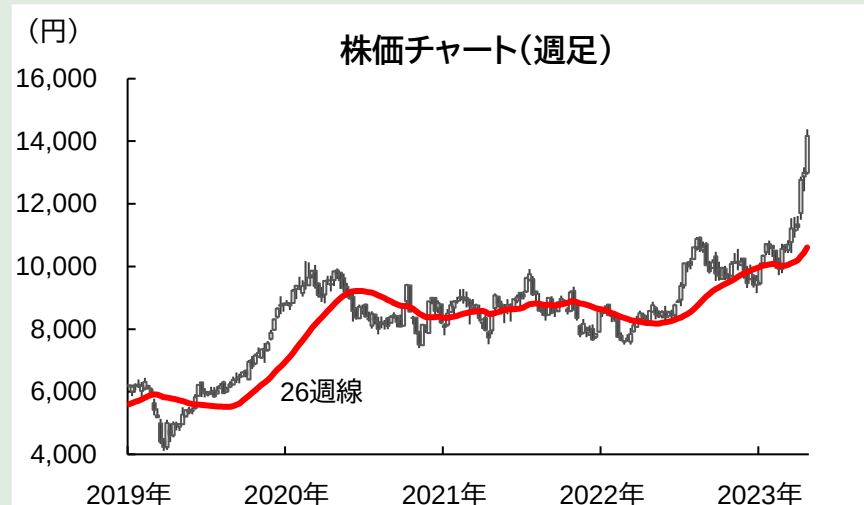
24/3期3Q累計決算は、前年同期比6%減収、同18%営業減益となった。ただ、売上高は四半期ベースで23/3期4Q以降回復が続く。部門別では、工業用テープで半導体メモリ向け需要が持ち直した。また、モバイル向け偏光フィルム及び情報テープ（透明粘着シート、工程保護フィルム）が拡大しており、中華系ハイエンドスマホ向けビジネスではシェアが向上しているもよう。VR向け光学フィルムも、新たな生産ラインで量産を開始。将来的な業績への貢献が期待できそうだ。

ヒューマンライフ事業においては、新型コロナワクチン向けが無くなったことが響いたが、米国マサチューセッツ州の核酸受託製造の新工場は試作を開始するなど立ち上げが順調に進んでいる。同時に300万株（発行済みの2.1%）を上限に自社株買いも発表しており、好感されよう。

2024年2月22日

投資情報部 株式マーケティングG 大下 莉奈  
マーケット情報G 福嶋 祥歩

出所:会社資料 作成:岡三証券



出所:QUICK 作成:岡三証券 2月16日現在

# 3月期決算企業の24/3期3Q決算まとめ

## ②注目銘柄

### ニトリHD(9843)

#### 家具・インテリア専門店をチェーン展開

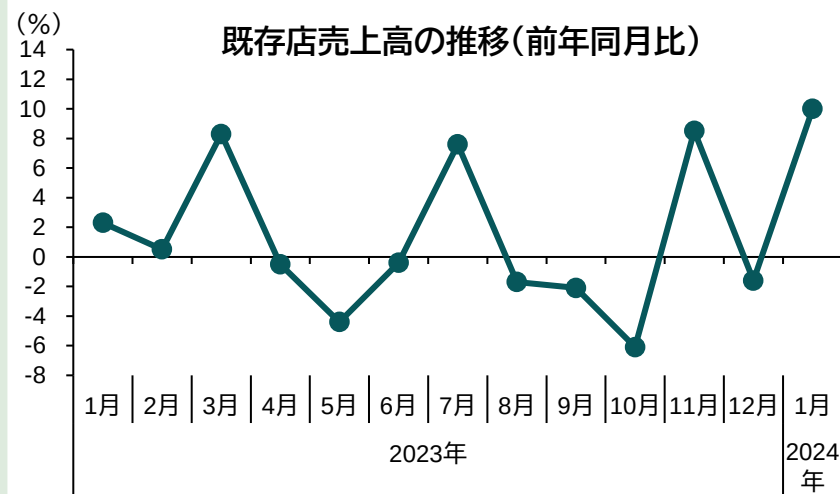
商品の企画や原材料の調達から製造・物流・販売に至る過程をグループ全体で行う「製造物流IT小売業」を確立。高品質かつ低価格での商品提供を実現。自社で企画するプライベートブランド商品が9割を占めている。2021年からは家電製品の取り扱いを拡充しており、2022年4月にエディオンと資本業務提携契約を締結した。

#### 注目ポイント:商品構成の工夫などで円安影響を緩和

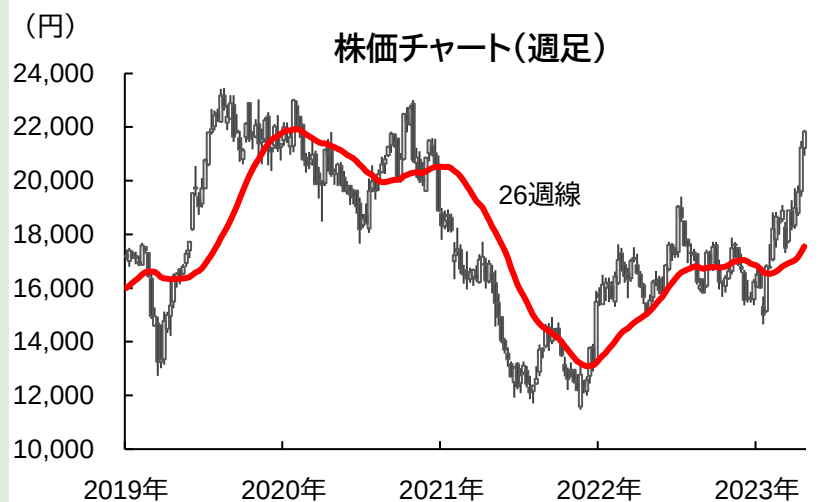
23/3期より決算期を2月から3月期に変更。24/3期3Q累計決算は、前年同期間(3-9月)比5%増収、同3%増益となった。9割の商品を海外で生産しているため、ドルに対する円安は業績にとってはマイナスに働く。ただ、1ドル=155円でも利益が出るよう原材料や産地などを変更した商品に入れ替えることで、仕入れコストの上昇などを緩和した。

また、24年1月の既存店売上高が前年同月比10%増、客数が同6.8%増と、回復の兆しが見られている点も見逃せない。加えて、25/3期はタイやベトナムなどアジア圏を中心に110店出店する目標を掲げる。商品構成の工夫や店舗改装時の売り場拡大、海外事業の拡大など、会社が進める様々な取り組みの動向が引き続き注目されよう。

2024年2月22日  
投資情報部 株式マーケティングG 大下 莉奈  
マーケット情報G 福嶋 祥歩



出所:会社資料 作成:岡三証券



出所:QUICK 作成:岡三証券 2月16日現在



## 重要な注意事項

### 免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ(<https://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

### 地域別の開示事項

#### 【日本】

○金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。金融商品取引のご契約にあたっては、あらかじめ当該契約の「契約締結前交付書面」(もしくは目論見書及びその補完書面)または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

#### ＜有価証券や金銭のお預かりについて＞

株式、優先出資証券等を当社の口座へお預かりする場合は、口座管理料をいただきません。外国証券(円建て債券および国内の金融商品取引所に上場されている海外ETFを除きます。)をお預かりする場合には、1年間に3,300円(税込み)の口座管理料をいただきます。ただし、電子交付サービスを契約している場合には、口座管理料は1年間に2,640円(税込み)とします。なお、当社が定める条件を満たした場合は外国証券の口座管理料を無料といたします。上記以外の有価証券や金銭のお預かりについては料金をいただきません。証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じて、1銘柄あたり6,600円(税込み)を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

#### ＜株式＞

・株式(株式・ETF・J-REITなど)の売買取引には、約定代金(単価×数量)に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.265%(税込み)の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.518%(税込み)の売買手数料をいただきます。外国株式の国内店頭(仕切り)取引では、お客様の購入および売却の単価を当社が提示します。この場合、約定代金に対し、別途の手数料および諸費用はかかりません。

※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します(外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません)。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。

・REITは、運用する不動産の価格や収益力の変動、発行者である投資法人の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により価格や分配金の変動し、損失が生じるおそれがあります。

#### ＜債券＞

・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

- ・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。
- ・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。
- ・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

#### <個人向け国債>

- ・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます(直前2回分の各利子(税引前)相当額×0.79685)。
- ・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ですが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

#### <転換社債型新株予約権付社債(転換社債)>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.10%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

#### <投資信託>

- ・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。  
お申込時に直接ご負担いただく費用:お申込手数料(お申込金額に対して最大3.85%(税込み))  
保有期間中に間接的にご負担いただく費用:信託報酬(信託財産の純資産総額に対して最大年率2.254%(税込み))  
換金時に直接ご負担いただく費用:信託財産留保金(換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%)  
その他の費用:監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません(外国投資信託の場合も同様です)。
- ・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が変動することにより、損失が生じるおそれがあります。
- ・上記記載の手数料等の費用の最大値は、今後変更される場合があります。

#### <信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.265%(税込み)(手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円(税込み))の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託保証金は、売買代金の30%以上で、かつ300万円以上の額が必要です。信用取引では、委託保証金の約3.3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託保証金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

- 自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。
- 2037年12月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して2.1%の付加税が課税されます。

## 岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
一般社団法人日本暗号資産取引業協会

### 【日本以外の地域における本レポートの配布】

本レポートは、参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意する必要があります。地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等を行うことが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは、岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

(2023年12月改定)